

平成30年度

西宮市乳幼児健康診査検討会 会議録（要約）

日時：平成31年2月26日（火）14：00～15：15

場所：西宮市北口保健福祉センター 多目的室

出席者：【西宮市医師会】柴田始宏（会長）、伊賀俊行、森裕司、伊熊貢秀

【西宮市歯科医師会】石田良介（副会長）、鷹取規子

【学識経験者】田中靖彦

【西宮市】川又攻、廣田理

【事務局】

保健所副所長：小田照美

保健所参事：福田典子

地域保健課：塚本聡子（課長）、浦岡由紀、松田有香、小林千夏、山際陽子、古庄尚子、豊田ひより、森英里奈、中東初美、高槻朋子、島田めぐみ、中村真樹、後藤眞理、大谷久美子、杉山裕樹、宮下緑

健康増進課：福永祐子

1. 開会

2. 会員、事務局職員の紹介

3. 会長選出

設置要綱第4条第1項の規定により会長は柴田会員に、第3項の規定により副会長は石田会員に決定する。

4. 報告・意見交換

（1）平成29年度乳幼児健康診査（集団）実施報告

○事務局

- ・各乳幼児健康診査の受診率・実施回数について報告する。
- ・医師診察結果内訳・診察所見・要精密検査の結果・継続支援状況等について報告する。
- ・乳幼児健康診査未受診児の対象者・把握数・把握方法内訳・結果内訳等について報告する。

○会員

- ・質疑なし

(2) 歯科健康診査の結果について

○事務局

- ・ 1歳6か月児と3歳児健康診査の歯科健診結果（う歯有病率・平均う歯数等）について報告する。
- ・ 平成30年度より塩瀬・山口保健福祉センターで開始した、「親子でむし歯 ZERO 教室」について報告する。

○会員

- ・ 質疑なし

(3) 第2次すこやか親子21問診項目の結果について

○事務局

- ・ 健やか親子21問診項目の集計結果報告を行う。

○会員

- ・ 質疑なし

(4) 平成29年度 10か月児健康診査実施報告

○事務局

- ・ 対象者数・受診数・受診率について報告する。
- ・ 医師診察結果内訳・診察所見・要精密検査の結果・継続支援状況等について報告する。

○会員

- ・ 質疑なし

(5) 療育機関への紹介数と受診結果

○事務局

- ・ 紹介先の経年変化について、こども未来センターへの紹介数が多数を占めている。また、市内の児童発達支援施設の増加に伴い、紹介数が増加している。

○会員

- ・ 質疑なし

(6) 居所不明調査結果

○事務局

- ・ 居所不明児等の調査の流れについて説明する。
- ・ 平成29年度の乳幼児健康診査対象児における、居所不明児はなし。

○会員

- ・質疑なし

(7) 市民からの意見

○事務局

- ・医師診察場面における、市民からの意見7件を紹介。

○会員

- ・質疑なし

(8) 精密健康診査の精度管理について

○事務局

- ・平成26～29年度乳幼児健康診査で精密健康診査が発行された疾病の内、開排制限(4か月児健康診査)、股関節脱臼(4か月児健康診査)、斜視(3歳児健康診査)、難聴疑い(3歳児健康診査)、尿たんぱく陽性+++以上(3歳児健康診査)の対象者数・結果把握数・結果(異常あり・異常なし)・精査受診率・陽性的中率を算出した。
- ・精密健康診査の未受診者へは、保健師から受診勧奨を実施している。聞き取りを行った未受診理由について報告を行う。

○会員

- ・乳幼児健康診査は疾病に対するスクリーニングの場である。陽性的中率の算出を実施した目的は何か。陽性的中率の評価基準はどのように考えるのか。

○事務局

- ・これまで乳幼児健康診査の精度管理に関する方法論は確立されていない。全国的に乳幼児健康診査の精度管理が実施されていない。このことから、算出した陽性的中率等の評価は困難である。今回、臨界期のある身体疾病をピックアップし、会員の先生方に結果をフィードバックすることで、判定の精度を標準化し、保健サービスとしての質を保つためのきっかけに実施するものである。

○会員

- ・陽性的中率を上げることが目的になると、見逃しの増加につながることを懸念される。

○事務局

- ・陽性的中率を上げることが目的ではない。精密健康診査の結果について情報共有を行い、判定の標準化を目指したい。

○会員

・滲出性中耳炎や扁桃肥大などの疾患でも、症状として耳の聴こえに関する症状が出るが、身体的所見を認めると陽性的中率は高くなる。反対に、反応が悪いなどの身体的所見を認めない場合、陽性的中率は低くなる可能性があるが、構音障害や発達障害を疑っていることもある。

鼓膜の動きを観察する医療機器を使用すれば滲出性中耳炎や聴力を確実に判断できるが、高額である。

○会員

・斜視の場合、眼科医と小児科医の見立てでは差がでるのではないかと。眼科診察のない日は、小児科医師に紹介状の発行を依頼してはどうか。

○会員

・尿たんぱく+++以上が精密健康診査の対象ということだが、++以上を対象にした方がよい。

○事務局

- ・今後の乳幼児健康診査の検討課題にさせていただきたい。
- ・斜視の紹介状については、小児科で対応可能か検討が必要である。

(9) 低身長に関する縦断調査

○事務局

・3歳児健康診査で低身長と診断された児の、4か月・1歳6か月児健康診査の結果を調査した。医師の診察結果と身長・体重のパーセンタイル値別にクロス集計表を作成した。4か月・1歳6か月健康診査で「身長」または「体重」が3P未満の児の76.2%は、16健の医師診察で異常ありと診断されていることが分かった。

○会員

・質疑なし

(10) 眼科診察のスクリーニング方法について

○事務局

・問診時における眼科診察のスクリーニング方法についてのマニュアルを説明する。

○会員

・質疑なし

5. 確認事項

(1) 乳幼児健康診査票の様式変更について

○事務局

・乳幼児健康診査票の様式変更について説明する。医師記載欄については、変更箇所なし。

○会員

・異議なし

(2) 平成31年度 乳幼児健康診査について

○事務局

・北口保健福祉センターの3歳児健康診査が3回/月(現行2回/月)へ変更となる。視聴覚健診が1回/月から2回/月となる。小児科医師の出務数が視聴覚健診実施日は3名、視聴覚健診がない日は2名となる。

・眼科、耳鼻科医師の出務時間の変更あり。中央と鳴尾保健福祉センターは14:00～1.5時間、北口保健福祉センターは13:45～1.75時間となる。

○会員

・異議なし

6. 閉会